

調 査 計 画

1 調査の名称（☒特定一般統計調査 ☐その他の一般統計調査）

大学等におけるフルタイム換算データに関する調査

2 調査の目的

本調査は、大学等における研究者数を国際比較可能なフルタイム換算値に補正するための係数（フルタイム（F T E）換算係数）を得るとともに、大学等における研究者の活動の実態及び研究や教育等にかける時間の利用実態を把握し、科学技術の振興に関する施策の企画・立案のための基礎資料を得ることを目的とする。

3 調査対象の範囲

（1）地域的範囲（☒全国 ☐その他）

（2）属性的範囲（☒個人 ☐世帯 ☐事業所 ☐企業・法人・団体 ☐地方公共団体 ☐その他）

総務省統計局が実施している「科学技術研究調査」において把握している大学等の研究者（本務者）のうち、教員、大学院博士課程の在籍者、医局員、その他の研究員

4 報告を求める個人又は法人その他の団体

（1）報告者数

約16,500人（母集団の大きさ：約30万人）

うち、教員 約8,600人（母集団の大きさ：約20万人）

大学院博士課程の在籍者 約3,200人（母集団の大きさ：約7万人）

医局員 約800人（母集団の大きさ：約2万人）

その他の研究員 約3,900人（母集団の大きさ：約1万人）

（2）報告者の選定方法（☐全数 ☒無作為抽出（☐全数階層あり） ☐有意抽出）

文部科学省が、科学技術研究調査で把握した大学別・研究分野別の研究者数から研究者に一連の番号を設定し、そこから無作為（系統抽出）で調査対象番号を選定する。各大学においては、保有する研究者名簿に付した番号と、文部科学省から指定された番号が一致した研究者を報告者に選定する（詳細は別添1参照）。

5 報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間

(1) 報告を求める事項

別添2 参照

〔集計しない事項の有無〕 ☐ 無 ☒ 有

別添2 参照

(2) 基準となる期日又は期間

令和5年11月1日現在。ただし、調査事項ごとの詳細は別添2 参照

6 報告を求めるために用いる方法

(1) 調査系統

調査票の配布：文部科学省－民間事業者－大学等－報告者

調査票の回収：報告者－民間事業者－文部科学省

(2) 調査方法

☐ 郵送調査 ☒ オンライン調査 (☐ 政府統計共同利用システム ☒ 独自のシステム ☐ 電子メール)

☐ 調査員調査 ☐ その他 ()

〔調査方法の概要〕

文部科学省から委託を受けた民間事業者は、大学等経由で報告者に対して調査依頼を行う。報告者は民間事業者作成のウェブページに記入することで回答を行う。なお、ウェブページの記入に際しては、IDとパスワードを付与する等、セキュリティ対策を講じる。

民間事業者は、調査票の回収に併せて、督促及び疑義照会も行う。

7 報告を求める期間

(1) 調査の周期

☐ 1回限り ☐ 毎月 ☐ 四半期 ☐ 1年 ☐ 2年 ☐ 3年 ☒ 5年 ☐ 不定期 ☐ その他 ()

(1年を超える場合又は不定期の場合の直近の実施年：平成30年)

(2) 調査の実施期間又は調査票の提出期限

令和5年11月1日～令和6年1月15日

8 集計事項

別添3の集計事項を参照

9 調査結果の公表の方法及び期日

- (1) 公表・非公表の別 (■全部公表 □一部非公表 □全部非公表)
- (2) 公表の方法 (■e-Stat □インターネット (e-Stat以外) □印刷物 □閲覧)
- (3) 公表の期日 令和6年12月下旬までに公表する。

10 使用する統計基準等

□使用する→□日本標準産業分類 □日本標準職業分類 □その他 ()

■使用しない

本調査は、学業分野に関する調査であり、日本標準産業分類及び日本標準職業分類を適用する余地を生じないことから使用しない。

11 調査票情報の保存期間及び保存責任者

(1) 調査票情報の保存期間

- ・ 記入済み調査票：3年
- ・ 調査票の内容を記録した電磁的記録：常用

(2) 保存責任者

文部科学省科学技術・学術政策局研究開発戦略課長

大学等におけるフルタイム換算データに関する調査（令和 5 年）

－ 標本抽出の方法 －

1. 教員、大学院博士課程の在籍者、医局員、その他の研究員のそれぞれについて、下記のように学問分野別に標本抽出数及び抽出率を設定する。

（1）教員

教員の母集団の大きさは、196,305 人（令和 4 年科学技術研究調査による。別紙 1 参照）であるが、これに対する必要回答数は、合計 6,000 人である。回収率を 70%（参考：前回調査では 63.5%）とすると、必要な標本抽出数は 8,571 人となる（調査実施時は、その概数の 8,600 人とする）。これらの学問分野別の内訳及び抽出率（標本抽出数を母集団数で除した値）を表 1 に示す。

表 1 教員の標本抽出の学問分野別内訳

	母集団の大きさ	必要回答数	標本抽出数	抽出率
理学	11,294	1,039	1,484	1/8
工学	32,571	1,367	1,952	1/17
農学	7,043	1,099	1,569	1/4
保健	70,973	1,127	1,611	1/44
人文・社会科学及びその他	74,424	1,369	1,955	1/38
合計	196,305	6,000	8,571	—

（2）大学院博士課程の在籍者

前回調査と同様に、5つの学問分野ごとに 386 の標本数を確保すると、合計で 1930 人（5×386 人）の標本が必要となる。回収率を 60%（参考：前回調査では 54.0%）とすると、必要な標本抽出数は 3,217 となる（調査実施時は、その概数の 3,200 人とする）。これらの学問分野別の内訳及び抽出率（標本抽出数を母集団数で除した値）を表 2 に示す。

表 2 大学院博士課程の在籍者の標本抽出の学問分野別内訳

	母集団の大きさ	必要回答数	標本抽出数	抽出率
理学	6,797	386	643	1/11
工学	16,225	386	643	1/25
農学	3,681	386	643	1/6
保健	26,484	386	643	1/41
人文・社会科学及びその他	17,538	386	643	1/27
合計	70,725	1,930	3,217	—

（3）医局員

医局員については該当する学問分野が「保健」しかないため、「保健」のみで 386 人の標本を確保する

こととする。回収率を 50%（参考：前回調査では 36.8%）とすると、必要な標本抽出数は 772 人となる（調査実施時は、その概数の 800 人とする）。これらの学問分野別の内訳及び抽出率（標本抽出数を母集団数で除した値）を表 3 に示す。

表 3 医局員の標本抽出の学問分野別内訳

	母集団の大きさ	必要回答数	抽出標本数	抽出率
保健	20,419	386	772	1/27

（４）その他の研究員

5つの学問分野ごとに 386 の標本数を確保すると、合計で 1930 人（5×386 人）の標本が必要となる。回収率を 50%（参考：前回調査では 51.2%）とすると、必要な標本数は 3,860 となる（調査実施時は、その概数の 3,900 人とする）。これらの学問分野別の内訳及び抽出率（標本抽出数を母集団の大きさに除した値）を表 4 に示す。

表 4 その他の研究員の標本抽出の学問分野別内訳

	母集団の大きさ	必要回答数	抽出標本数	抽出率
理学	3,180	386	772	1/4
工学	3,379	386	772	1/4
農学	977	386	772	1/1
保健	3,475	386	772	1/5
人文・社会科学及びその他	2,773	386	772	1/4
合計	13,784	1,930	3860	—

2. 標本の無作為抽出と大学等への割り当て方法

標本の無作為抽出に用いることのできる母集団名簿は存在しないが、「科学技術研究調査」により、学問分野別の母集団の大きさ及び、その大学等別の内訳は把握されている。これを用いて、前項 1 で示した抽出率で、学問分野別の無作為抽出を行うことにより、大学等別の抽出標本数を決定する。

大学等に対して調査への協力を依頼する際には、「科学技術研究調査」（令和 4 年調査）で人数を回答した研究者について 1 から始まる通し番号を設定するよう大学等に依頼し、これに対して、文部科学省又は委託業者から、無作為抽出した番号を提示して、該当する番号の研究者に調査票等を配布するよう大学等に依頼する。

「大学等におけるフルタイム換算データに関する調査」(令和5年度)の母集団の大きさ
(単位:人)

	教員	大学院博士課程の在籍者	医局員	その他の研究員	
総数	196,305	70,725	20,419	13,784	301,233
大学の学部	173,912	69,489	20,388	9,451	
短期大学	6,892	—	—	22	
大学附置研究所	5,085	864	31	2,291	
その他	10,416	372	—	2,020	
国立	68,731	48,887	9,485	9,544	
公立	14,761	4,725	1,612	923	
私立	112,813	17,113	9,322	3,317	
人文・社会科学	46,513	12,378	—	1,909	
自然科学	121,881	53,187	20,419	11,011	
理学	11,294	6,797	—	3,180	
工学	32,571	16,225	—	3,379	
農学	7,043	3,681	—	977	
保健	70,973	26,484	20,419	3,475	
その他	27,911	5,160	—	864	

資料:総務省統計局「科学技術研究調査報告」(令和4年)大学等・第1表、令和4年3月31日時点

報告を求める事項

《教員》

報告を求める事項	基準となる期日又は期間
① 勤務先（本務）の名称	令和5年11月1日現在
② 勤務先（本務）	
③ 職名（本務）	
④ 雇用上の職務の範囲	
⑤ 本務における任期の有無	
⑥ 研究時間に影響を及ぼす特殊な状況	令和4年4月1日から令和5年3月31日までの1年間
⑦ 職歴	令和5年3月31日現在
⑧ 国籍	
⑨ 生年月	
⑩ 性別	
⑪ 最終学位	
⑫ 専門分野	
⑬ 区分別の週数及び休日数	令和4年4月1日から令和5年3月31日までの1年間
⑭ 職務を行う平均的な1日の時間数	
⑮ 大学教員として担当した授業数	
⑯ 個人又は研究代表者として得た研究資金の金額	
⑰ 外部研究資金獲得や獲得後の報告等にかかる事務手続業務	平成30年4月1日から令和5年3月31日までの5年間
⑱ 学会に関する事務作業に係る時間	令和4年4月1日から令和5年3月31日までの1年間
⑲ 定常的に参加している大学内の会議	令和4年4月1日から令和5年3月31日までの1年間
⑳ 論文等の研究成果	平成30年4月1日から令和5年3月31日までの5年間
㉑ 研究パフォーマンスに関する見解	令和4年4月1日から令和5年3月31日までの1年間

※ 「勤務先（本務）の名称」及び「勤務先（本務）」については、区分を識別するためのフェイス事項であるため、集計は行わない。

《大学院博士課程の在籍者》

報告を求める事項	基準となる期日又は期間
① 在籍大学等の名称	令和5年11月1日現在
② 在籍している大学院博士課程への進学時期	
③ 生年月	
④ 国籍	
⑤ 性別	
⑥ 専門分野	
⑦ 在籍大学等との雇用関係	
⑧ 社会人経験の有無	
⑨ 職業の状況	
⑩ 貸与・給付を受けている奨学金・研究奨励金又は 在籍大学等による授業料免除の状況	
⑪ 区分別の週数及び休日数	令和5年4月1日から令和6年3月31日までの1年間
⑫ 研究活動及び労働を行う平均的な1日の時間数	
⑬ 論文等の研究成果	令和6年3月31日まで

※ 「在籍大学等の名称」については、区分を識別するためのフェイス事項であるため、集計は行わない。

《医局員》

報告を求める事項	基準となる期日又は期間
① 勤務先（本務）の名称	令和5年11月1日現在
② 勤務先（本務）	令和5年3月31日現在

③ 研究者の区分（本務）	
④ 医局員となった年月	
⑤ 本務における任期の有無	
⑥ 雇用形態	
⑦ 兼務の状況	
⑧ 職歴	
⑨ 国籍	
⑩ 生年月	
⑪ 性別	
⑫ 最終学位	
⑬ 専門分野	
⑭ 一週間あたりの休日数	令和4年4月1日から令和5年3月31日までの1年間
⑮ 職務を行う平均的な1日の時間数	
⑯ 個人又は研究代表者として得た研究資金の金額	
⑰ 論文等の研究成果	平成30年4月1日から令和5年3月31日までの5年間
⑱ 研究活動に関する外部への委託状況	令和4年4月1日から令和5年3月31日までの1年間

※ 「勤務先（本務）の名称」及び「勤務先（本務）」については、区分を識別するためのフェイス事項であるため、集計は行わない。

《その他の研究員》

報告を求める事項	基準となる期日又は期間
① 勤務先（本務）の名称	令和5年11月1日現在
② 勤務先（本務）	令和5年3月31日現在
③ 研究者の区分（本務）	
④ その他の研究員となった年月	
⑤ 本務における任期の有無	
⑥ 雇用形態	
⑦ 兼務の状況	
⑧ 職歴	
⑨ 国籍	
⑩ 生年月	
⑪ 性別	
⑫ 最終学位	
⑬ 専門分野	
⑭ 一週間あたりの休日数	令和4年4月1日から令和5年3月31日までの1年間
⑮ 職務を行う平均的な1日の時間数	
⑯ 個人又は研究代表者として得た研究資金の金額	
⑰ 論文等の研究成果	平成30年4月1日から令和5年3月31日までの5年間

※ 「勤務先（本務）の名称」及び「勤務先（本務）」については、区分を識別するためのフェイス事項であるため、集計は行わない。

集計事項

1. 集計事項

1-1. 教員

1. 属性別の集計状況 [集計区分 1]
2. 回答者の各種属性別の内訳 [集計区分 1・2・3]
3. 年間における週のパターン別の週数 [集計区分 1・2・3]
4. 基本的な週のパターン別の平常的な1週間の内訳 [集計区分 1・2・3]
5. 1年間における活動パターン別の日数 [集計区分 1・2・3]
6. 活動パターン別の職務を行う平均的な1日の活動内容別内訳 [集計区分 1・2・3]
7. 年間総職務時間の活動内容別内訳 [集計区分 1・2・3]
8. 年間総職務時間の活動内容別内訳 (割合) [集計区分 1・2・3]
9. 活動内容別従事割合の属性間クロス集計 [集計区分 1・2]
10. 雇用上の職務の範囲別の集計状況 [集計区分 1・2]
11. 本務における任期の有無別の集計状況 [集計区分 1・2]
12. 令和4年度の勤務における、研究時間に影響を及ぼす特殊な状況別の集計状況 [集計区分 1・2]
13. 職歴の集計状況 [集計区分 1・2]
14. 診療活動等のうち研究活動に活きる時間割合 [集計区分 1・3]
15. 令和4年度における大学教員として担当した授業数 [集計区分 1・2・3]
16. 令和4年度の研究資金の金額の集計状況 [集計区分 1・2]
17. 平成30年度から令和4年度までの5年間における競争的研究費等、外部研究資金の獲得に必要な業務の日数・時間数 [集計区分 1・2・3]
18. 令和4年度における学会に関する事務作業に係る時間 [集計区分 1・2・3]
19. 定常的に参加している大学内の会議 [集計区分 1・2・3]
20. 過去5年間 (平成30年度～令和4年度) における論文等の研究成果 [集計区分 1・2・3]
21. 研究パフォーマンスに関する見解 [集計区分 1・2・3]
22. 活動内容別年間総職務時間に関する達成精度および諸統計量 [集計区分 1]

1-2. 大学院博士課程の在籍者

1. 属性別の集計状況 [集計区分 1]
2. 回答者の各種属性別の内訳 [集計区分 1・2・3]
3. 1年間における週のパターン別の週数 [集計区分 1・2・3]
4. 基本的な週のパターン別の平常的な1週間の内訳 [集計区分 1・2・3]
5. 1年間における活動パターン別の日数 [集計区分 1・2・3]
6. 活動パターン別の活動を行う平均的な1日の活動内容別内訳 [集計区分 1・2・3]
7. 年間総活動時間の活動内容別内訳 [集計区分 1・2・3]
8. 年間総活動時間の活動内容別内訳 (割合) [集計区分 1・2・3]
9. 活動内容別従事割合の属性間クロス集計 [集計区分 1・2]
10. 在籍大学との雇用関係の種類別の集計状況 [集計区分 1・2]
11. 在籍大学との雇用関係における令和5年度の収入額 [集計区分 1・2]
12. 社会人経験の有無別の集計状況 [集計区分 1・2]
13. 職業の状況別の集計状況 [集計区分 1・2]
14. 貸与・給付を受けている奨学金・研究奨励金又は在籍大学による授業料免除の状況別の集計状況 [集計区分 1・2]
15. 貸与・給付を受けている奨学金・研究奨励金又は在籍大学による授業料免除による令和5年度の貸与又は給付の額 [集計区分 1・2]
16. 令和5年度までの論文等の研究成果 [集計区分 1・2・3]
17. 活動内容別年間総職務時間に関する達成精度および諸統計量 [集計区分 1]

1-3. 医局員

1. 属性別の集計状況 [集計区分 1]
2. 回答者の各種属性別の内訳 [集計区分 1・2・3]
3. 平均的な1週間の内訳 [集計区分 1・2・3]
4. 平均的な1週間における活動時間の内訳 [集計区分 1・2・3]

5. 平均的な1週間における活動時間の内訳（割合）〔集計区分1・2・3〕
6. 活動内容別従事割合の属性間クロス集計〔集計区分1・2〕
7. 研究者としての状況別の集計状況〔集計区分1・2〕
8. 本務における任期の有無別の集計状況〔集計区分1・2〕
9. 雇用形態別の集計状況〔集計区分1・2〕
10. 兼務の状況別の集計状況〔集計区分1・2〕
11. 職歴の集計状況〔集計区分1・2〕
12. 医療関連活動のうち研究活動に活きる時間割合〔集計区分1・3〕
13. 令和4年度の研究資金の金額の集計状況〔集計区分1・2〕
14. 過去5年間（平成30年度～令和4年度）における論文等の研究成果〔集計区分1・2・3〕
15. 活動内容別年間総職務時間に関する達成精度および諸統計量〔集計区分1〕

1－4. その他の研究員

1. 属性別の集計状況〔集計区分1〕
2. 回答者の各種属性別の内訳〔集計区分1・2・3〕
3. 平均的な1週間の内訳〔集計区分1・2・3〕
4. 平均的な1週間における活動時間の内訳〔集計区分1・2・3〕
5. 平均的な1週間における活動時間の内訳（割合）〔集計区分1・2・3〕
6. 活動内容別従事割合の属性間クロス集計〔集計区分1・2〕
7. 研究者としての状況別の集計状況〔集計区分1・2〕
8. 本務における任期の有無別の集計状況〔集計区分1・2〕
9. 雇用形態別の集計状況〔集計区分1・2〕
10. 兼務の状況別の集計状況〔集計区分1・2〕
11. 職歴の集計状況〔集計区分1・2〕
12. 令和4年度の研究資金の金額の集計状況〔集計区分1・2〕
13. 過去5年間（平成30年度～令和4年度）における論文等の研究成果〔集計区分1・2・3〕
14. 活動内容別年間総職務時間に関する達成精度および諸統計量〔集計区分1〕

2. 集計区分

2－1. 教員

2-1-1 集計区分1

（総数）

（令和5年3月31日時点の勤務先）

- 国内：1 現在と同じ
- 2 他の大学等
- 3 公的機関
- 4 非営利団体
- 5 企業
- 6 外国の機関
- 7 その他（無職等）

（大学等の種類）大学の学部／短大／高等専門学校／大学附置研究所／大学共同利用期間／その他

（組織の形態）国立／公立／私立

（組織の学問区分）人文・社会科学（うち文学／法学／経済学／その他の人文・社会科学）
自然科学（うち理学／工学／農学／保健（うち医歯薬学／その他））
その他（うち家政／教育／その他）

2-1-2 集計区分2

（国籍）日本／外国

（性別）男／女

（職名）教授／准教授／講師／助教／助手

（年齢階層）～24歳／25歳～29歳／30歳～34歳／35歳～39歳／40歳～44歳／45歳～49歳／50歳～54歳／55歳～59歳／60歳～64歳／65歳～

（最終学位）学士／修士／博士／博士課程満期退学・単位取得退学／専門職学位（法務博士

- ・専門職修士) / その他
(専門分野別区分)

人文社会系

人文科学 / 法学・政治 / 商学・経済 / その他の社会科学 (社会学を含む)

自然科学系

理学 (理論系) / 理学 (実験系) / 工学 / 農学 (農業工学および農業経済を除く) / 農業工学 / 農業経済 / 医学 (基礎系・社会系) / 医学 (臨床系) / 歯学 (基礎系・社会系) / 歯学 (臨床系) / 薬学 / その他の保健

その他

家政 / 教育 / 芸術 / その他

(医学 (基礎系・社会系) / 医学 (臨床系)) を選択した場合

内科 / 呼吸器内科 / 循環器内科 / 消化器内科 / 腎臓内科 / 脳神経内科 / 糖尿病内科 / 皮膚科 / 小児科 / 精神科 / 外科 / 消化器外科 / 泌尿器科 / 脳神経外科 / 整形外科 / 眼科 / 耳鼻いんこう科 / 産婦人科 / 放射線科 / 麻酔科 / その他の診療科

2-1-3 集計区分 3

(雇用上の職務の範囲) 教育と研究が明示的に職務に含まれる / 原則として教育のみが職務 / 原則として研究のみが職務 / 教育・研究以外の職務の専任 / その他

(本務における任期の有無) 任期無し / 任期有り (テニュアトラック制) / 任期有り (テニュアトラック制以外の期限を定めた雇用)

(令和 4 年度の勤務における、研究時間に影響を及ぼす特殊な状況) 学外での兼務をしていた / サバティカル研修 (制度) を利用していた / 病気休暇等、長期の休暇を連続して 20 日以上取得していた / 学長・副学長、学部長・研究科長等、大学の運営に関わる特定の役職に就いていた / その他の研究時間に影響を及ぼす特殊な状況にあった / 左記のような特殊な状況にはなかった

(職歴) 大学等 (現所属) のみ / 大学等のみ / 公的機関有り / 非営利団体有り / 企業有り / 大学等 (外国) 有り

/ 公的機関 (外国) 有り / 非営利団体 (外国) 有り / 企業 (外国) 有り

(令和 4 年度に得た研究資金の金額)

内部資金 (運営費交付金等を含む) : なし / ある

うち学内での競争性のある資金 : なし / ある

外務資金 : なし / ある

うち競争的研究費 : なし / ある

2-2. 大学院博士課程 (後期) 在籍者

2-2-1 集計区分 1

(総数)

(大学等の種類) 大学の学部 / 短大 / 大学附置研究所 / その他

(組織の形態) 国立 / 公立 / 私立

(組織の学問区分) 人文・社会科学 (うち文学 / 法学 / 経済学 / その他の人文・社会科学) / 自然科学 (うち理学 / 工学 / 農学 / 保健 (うち医歯薬学 / その他))

その他 (うち家政 / 教育 / その他)

2-2-2 集計区分 2

(国籍) 日本 / 外国

(性別) 男 / 女

(年齢階層) ~24 歳 / 25 歳~29 歳 / 30 歳~34 歳 / 35 歳~39 歳 / 40 歳~44 歳 / 45 歳~49 歳 / 50 歳~54 歳 / 55 歳~59 歳 / 60 歳~64 歳 / 65 歳~

(進学時期) 2023 年 (博士課程 1 年) / 2022 年 / 2021 年 / 2020 年 / 2019 年以前

(専門分野別区分)

人文社会系

人文科学 / 法学・政治 / 商学・経済 / その他の社会科学 (社会学を含む)

自然科学系

理学（理論系）／理学（実験系）／工学／農学（農業工学および農業経済を除く）
／農業工学／農業経済／医学（基礎系・社会系）／医学（臨床系）／歯学（基礎系・
社会系）／歯学（臨床系）／薬学／その他の保健
その他
家政／教育／芸術／その他

2-2-3 集計区分3

（在籍大学との雇用関係）無し／リサーチアシスタント／ティーチングアシスタント
／テクニカルアシスタント／その他
（社会人経験の有無）博士課程進学前に、1年以上の社会人経験がない／学部修了後、1年以上の社会人経験がある／修士課程修了後、1年以上の社会人経験がある／左記以外の社会人経験がある
（職業の状況）正社員として働いている／現在は休職している／アルバイト等のパートタイムで働いている／派遣社員又は契約社員として働いている／職業には従事していない
（貸与・給付を受けている奨学金・研究奨励金又は在籍大学による授業料免除の状況）受けていない／日本学生支援機構／日本学術振興会／在籍大学（奨学金、フェローシップ等）／在籍大学（授業料免除）／左記以外の公的機関／民間（企業・非営利団体）

2-3. 医局員

2-3-1 集計区分1

（総数）

（令和5年3月31日時点の勤務先）

- 国内：1 現在と同じ
- 2 他の大学等
- 3 公的機関
- 4 非営利団体
- 5 企業
- 6 外国の機関
- 7 その他（無職等）

（大学等の種類）大学の学部／短大／大学附置研究所／大学共同利用期間／その他

（組織の形態）国立／公立／私立

（組織の学問区分）人文・社会科学（うち文学／法学／経済学／その他の人文・社会科学）
自然科学（うち理学／工学／農学／保健（うち医歯薬学））
その他（うち家政／教育／その他）

2-3-2 集計区分2

（国籍）日本／外国

（性別）男／女

（年齢階層）～24歳／25歳～29歳／30歳～34歳／35歳～39歳／40歳～44歳／45歳～49歳／50歳～54歳／55歳～59歳／60歳～64歳／65歳～

（医局員となった時期）2023年／2022年／2021年／2020年／2019年／それ以前

（最終学位）学士／修士／博士／博士課程満期退学・単位取得退学／専門職学位（法務博士・専門職修士）／その他の学位
（専門分野別区分）

人文・社会科学／理・工・農学／医学（基礎系・社会系）／医学（臨床系）／歯額／薬学／看護学／その他

（医学（基礎系・社会系）／医学（臨床系））を選択した場合

内科／呼吸器内科／循環器内科／消化器内科／腎臓内科／脳神経内科／糖尿病内科
／皮膚科／小児科／精神科／外科／消化器外科／泌尿器科／脳神経外科／整形外科
／眼科／耳鼻いんこう科／産婦人科／放射線科／麻酔科／その他の診療科

2-3-3 集計区分3

（研究者としての状況）大学院博士課程（後期）在籍中／ポストドクター
／いずれにも該当しない

(任期の有無) 任期無し／任期有り
(雇用形態) 科学研究費助成事業によるプロジェクト雇用／科学研究費助成事業以外の競争的資金によるプロジェクト雇用／その他の公的資金によるプロジェクト雇用／その他のプロジェクト雇用／いずれにも該当しない
(兼務の状況) 学外での兼務無し／他の大学等の職務を兼務／公的機関の職務を兼務／非営利団体の職務を兼務／企業の職務を兼務／外国の機関の職務を兼務
(職歴) 大学等(現所属)のみ／大学等のみ／公的機関有り／非営利団体有り／企業有り／大学等(外国)有り／公的機関(外国)有り／非営利団体(外国)有り／企業(外国)有り
(令和4年度に得た研究資金の金額)
内部資金(運営費交付金等を含む)：なし／ある
外務資金：なし／ある
うち国からの資金：なし／ある
うち企業・財団等からの資金：なし／ある

2-4. その他の研究員

2-4-1 集計区分1

(総数)
(令和5年3月31日時点の勤務先)
国内：1 現在と同じ
2 他の大学等
3 公的機関
4 非営利団体
5 企業
6 外国の機関
7 その他(無職等)
(大学等の種類) 大学の学部／短大／高等専門学校／大学附置研究所／大学共同利用期間／その他
(組織の形態) 国立／公立／私立
(組織の学問区分) 人文・社会科学(うち文学／法学／経済学／その他の人文・社会科学)
自然科学(うち理学／工学／農学／保健(うち医歯薬学／その他))
その他(うち家政／教育／その他)

2-4-2 集計区分2

(国籍) 日本／外国
(性別) 男／女
(年齢階層) ～24歳／25歳～29歳／30歳～34歳／35歳～39歳／40歳～44歳／45歳～49歳／50歳～54歳／55歳～59歳／60歳～64歳／65歳～
(その他の研究員となった時期) 2023年／2022年／2021年／2020年／2019年／それ以前
(最終学位) 学士／修士／博士／博士課程満期退学・単位取得退学／専門職学位(法務博士・専門職修士)／その他の学位
(専門分野別区分)
人文社会系
人文社会科学／法学・政治／商学・経済／その他の社会科学(社会学を含む)
自然科学系
理学(理論系)／理学(実験系)／工学／農学(農業工学および農業経済を除く)
／農業工学／農業経済／医学(基礎系・社会系)／医学(臨床系)／歯学(基礎系・社会系)／歯学(臨床系)／薬学／その他の保健
その他
家政／教育／芸術／その他

2-4-3 集計区分3

(研究者としての状況) 大学院博士課程(後期)在籍中／ポストドクター
／いずれにも該当しない
(任期の有無) 任期無し／任期有り
(雇用形態) 科学研究費助成事業によるプロジェクト雇用／科学研究費助成事業以外の競争

的資金によるプロジェクト雇用／その他の公的資金によるプロジェクト雇用
／その他のプロジェクト雇用／いずれにも該当しない
(兼務の状況) 学外での兼務無し／他の大学等の職務を兼務／公的機関の職務を兼務
／非営利団体の職務を兼務／企業の職務を兼務／外国の機関の職務を兼務
(職歴) 大学等（現所属）のみ／大学等のみ／公的機関有り／非営利団体有り／企業有り／
大学等（外国）有り
／公的機関（外国）有り／非営利団体（外国）有り／企業（外国）有り
(令和4年度に得た研究資金の金額)
内部資金（運営費交付金等を含む）：なし／ある
うち学内での競争性のある資金：なし／ある
外務資金：なし／ある
うち競争的研究費：なし／ある

「大学等におけるフルタイム換算データに関する調査」過去の調査における調査票回収率

	H14	H20	H25	H30
教員	52.6%	70.5%	67.2%	63.5%
大学院博士課程の在籍者	58.7%	60.8%	58.3%	54.0%
医局員	-	58.7%	47.6%	36.8%
その他の研究員				51.2%

復元推計の方法について
(大学等におけるフルタイム換算データに関する調査)

標本抽出層ごと（学問分野別）に、集計客体数（有効回収数）に応じたウェイト値による重み付け集計を行い、対象母集団の状況を復元している。